



其

ろ

あ

が

ご

と

ま



青樓未明草自序

倡客穴學問の後編を青樓

女庭訓とつゝ其又後編を

亦未明草と題を初度

再度迄も実結

坐敷ざしきの。雛妓ひなぎ作者さくしや。花街はなまちの。

諸譯しよも酒さけくらりと。報向あきおゆる

氣きのふくれども。筆ふでをとろく

中ちゆうとトス人ひと。書肆しよしから。佳促さいしゆく

おこされど。心流こころくえよ。おきあそ

おこされど。心流くえよおき速り

スウ〜  
ヨ〜  
書出せ〜  
鼻ひな子

あ〜  
此序このまふん

文政 八乙酉年 正月

豊樂郷の九陽亭

あ〜

鼻山人誌







○ 目録

上の巻ハ

矯矯たる珍木の頼き金丸の

懼きまゐるを得んや

花と鳥の慶の鐘の別はう那

下の巻ハ

美眼人の指さるるを患ひ高明

神の悪ふ遍新

酒酔くありぬ浮世の花日如

上

セイロウヨシナテイキレ  
青樓女庭訓後編

上

セイロウヨシナテイキレ  
青樓女庭訓後編

青樓未明草

鼻山人著

上のまね

善遊よがかもめ老のいの色も不あ溺ある。善よ尻あ馬ま子の騎り  
めのいの。そのそ嘲こりま小ち墮おのの。そのそ好よむままままま  
直ちぐんとと。ままらら禍わざひを。まま結むぐとうや。ままよよ  
松まつ戸と屋や又また三さん角かく入い。まま尾びよよくく我われ家やをを。ああびあよよくく

たゞぢふ仲の丁の茶屋。あゝ川やへいられば亭主  
 五六。女をうををいふ。下男を女小いけるまをコハ  
 好むは末縁と。最行の最持賞つ。二階く  
 清く。おのく。産定まのてのち。与。つきのお中どの  
 仕立を。そ。尾の緒ぐくけりりま。て。たまふ  
 おあんどうや止ま。と。あ。う。ま。が。ら。は。あ。親。さ。の  
 おぢ。ゆ。も。由。を。理。で。い。ま。ゆ。玉。極。由。も。ん。と。も。さ。あ  
 の。由。斗。ら。ひ。ど。い。ど。さ。う。ま。ま。れ。ど。お。ら。う。ひ。時。も。を。見

と。から。で。ん。さん。さん。あ。ん。あ。う。ら。ん。を。ゆ。め。を。あ。ら。ん。ぢ。さん









中一こが。秀張むがあらせいのト入かませ。女さう

さゆいむげんりまゆ子。おにあとでさゆとも。おまを  
カテありま〜  
又これゆカサをう。機管をむひひ  
うら。ごも仕うがぬ。女さうりう〜  
むらむらむら。サト音をむ振さされ〜  
かひ〜。まゆ〜。まゆのサ。又サア〜  
一ツ上ケサ。トとれちあが〜。さふぎのめづるも  
まおまの口にお用か〜。まは。おらら。さ  
キーどの  
よりらら。モモチのト。女さう。アイヨト。さふかきを  
又さふかき  
ちよのせトゆ〜。又ホニちよのトあて。附會うら









まあし。アノ弁ちやふまじ七みん八び。おあうううがごう  
 まのる。又又ともやアめあ。なるあのおよびやせんのか。  
 口のちも。アノ疾ちやをんく整ちやと。まあかふるるりも  
 あうら内うちやのあまめを。なまくらじて中ちややごまぐ  
 けまおををゆくとらぬ。とれうら日ひのきるあひのさ  
 くら。紛まきふ。おやぢやあまらの目をあんで。あそう  
 ぞ。扱あけてあてまあも。ちあうくら透あく。極き手をあ  
 へんをうらサ。あんあうらるるア。あひのあイエ

あんあおあうらりあさるるア。とせうりませんが









ふおまのどくざんを後入[五]まが流るちんころ

とんごころでむらりもーし子[五]アイ。かみようく

あまのしーご。松のさん 吾あんまう [松] アイまふ。あう

りまヨ [松] コシノ目をまうーイまごころア。ちんとも

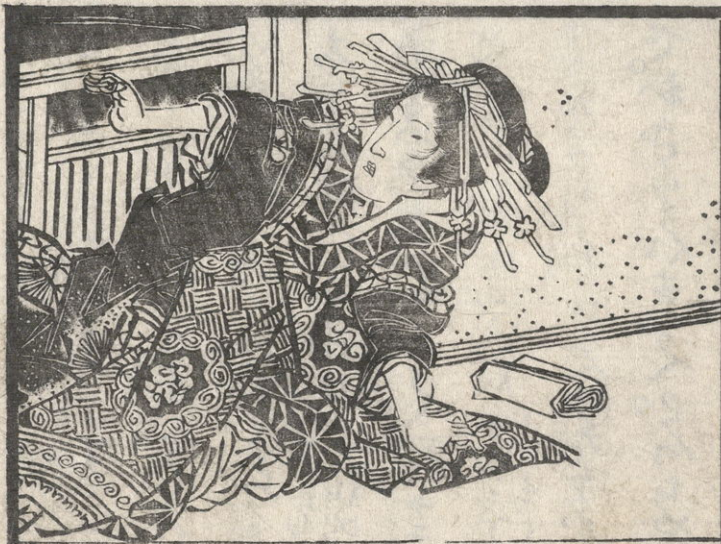
あひふせんが子。モレ弁<sup>かしのせん</sup>父のヨアふらうても。モレ

あアやア あひせんう [松] ナニエおららんが聘<sup>てん</sup>むんま

ど。あま<sup>あま</sup>不<sup>あま</sup>真<sup>あま</sup>ハごんが<sup>とれあま</sup> <sup>ちんあま</sup>ま<sup>あま</sup>く<sup>あま</sup>子<sup>あま</sup>は<sup>あま</sup>ま<sup>あま</sup>て<sup>あま</sup>。ま<sup>あま</sup>ま<sup>あま</sup>ん

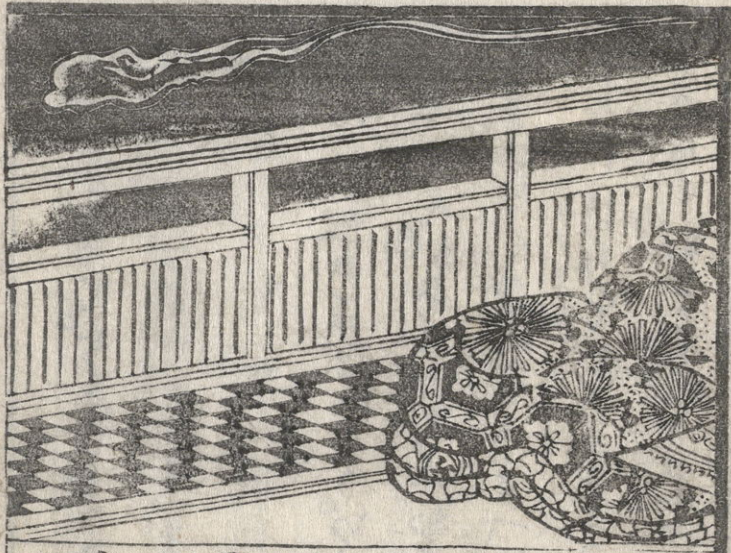
ーたらら<sup>あま</sup> 弁<sup>あま</sup>の人<sup>あま</sup>ア<sup>あま</sup>なら<sup>あま</sup>ま<sup>あま</sup>あ<sup>あま</sup>ひ<sup>あま</sup>せんヨ [松] とら

で。お<sup>あま</sup>ぎ<sup>あま</sup>ら<sup>あま</sup>ま<sup>あま</sup>ま<sup>あま</sup>う<sup>あま</sup>。ら<sup>あま</sup>ち<sup>あま</sup>や<sup>あま</sup>ア<sup>あま</sup>ら<sup>あま</sup>そ<sup>あま</sup>ま<sup>あま</sup>が<sup>あま</sup>ま<sup>あま</sup>ふ<sup>あま</sup>。か<sup>あま</sup>



尸をモヨ<sup>ヨ</sup>モモ<sup>モ</sup>ちんあも  
 まわ<sup>わ</sup>く<sup>く</sup>る<sup>る</sup>の<sup>の</sup>ア。あ<sup>あ</sup>ん  
 ません子。目をま<sup>ま</sup>ん<sup>ん</sup>さん  
 ち<sup>ち</sup>も<sup>も</sup>ふ<sup>ふ</sup>極<sup>く</sup>む<sup>む</sup>で<sup>で</sup>ん<sup>ん</sup>は<sup>は</sup>  
 き子。男の身でせ<sup>せ</sup>え<sup>え</sup>ま<sup>ま</sup>ん<sup>ん</sup>ア  
 ち<sup>ち</sup>も<sup>も</sup>ふ<sup>ふ</sup>ん<sup>ん</sup>死<sup>し</sup>ふ<sup>ふ</sup>ま<sup>ま</sup>し<sup>し</sup>と  
 あ<sup>あ</sup>ん<sup>ん</sup>な<sup>な</sup>又<sup>また</sup>あ<sup>あ</sup>が<sup>が</sup>ら<sup>ら</sup>い<sup>い</sup>飛<sup>と</sup>の<sup>の</sup>  
 と<sup>と</sup>い<sup>い</sup>ふ<sup>ふ</sup>も。後<sup>あと</sup>の<sup>の</sup>あ<sup>あ</sup>の<sup>の</sup>が<sup>が</sup>た<sup>た</sup>う<sup>う</sup>こ

あ<sup>あ</sup>も<sup>も</sup>わ<sup>わ</sup>ア<sup>ア</sup>八<sup>はち</sup>五<sup>ご</sup>子<sup>こ</sup>で<sup>で</sup>も。あ<sup>あ</sup>の<sup>の</sup>  
ま<sup>ま</sup>ち<sup>ち</sup>ま<sup>ま</sup>じ



あまわアハ王子まろしでもあ  
 こらあ〜〜〜**箱**こら  
 ちやア。ちんおびらううびらはーイ  
 あ〜**箱**だれでもサ。ちんお  
 りら〜い。アいりあまうもの  
 のりふふあがはさ〜ん。あび  
 えん  
 ちんおやア。あま〜くまんせ船せん目めの  
 瑞みづあ〜の**箱**あアるあど



とりふも。後入あやあめどたうこ

くれいきらあて。どめどぶざうりま。それーやア  
 あれい。合あひなまでどぶざうりませう。合あひ玉たまどの玉たまさん  
 ちよ玉たまさん。合あひ玉たまあれおんやア移うつり。ちよ玉たまさん  
 清きよれど合あひおしびらう。ちよ玉たまさん。合あひ玉たまあれおんやア移うつり。ちよ玉たまさん  
 由ゆ事じさん。おありがな。ちよ玉たまさん。合あひ玉たまあれおんやア移うつり。ちよ玉たまさん  
 お家のどくさんま。ちよ玉たまさん。合あひ玉たまあれおんやア移うつり。ちよ玉たまさん  
 をおしほして。お出でまきさるがよ。合あひ玉たまあれおんやア移うつり。ちよ玉たまさん  
 のよ。ちよ玉たまさん。合あひ玉たまあれおんやア移うつり。ちよ玉たまさん

を おし...  
ゆめよう...  
おび...  
ス。コレナ松のさん。ぬ...  
十

どゆえや...  
さくま...  
てかま...  
かん...  
あん...  
まぐ...  
コレを...  
[発] ナニ...  
み...  
肩...  
ま...



おいとぬ仕らうト。りふ地ちがやどをアコあまふく

人ひとの。おきまあさるりゆもあるふとらんア。ソレをんあやまんとトひまららおらら村毎のをとびぬが  
あらしめとく一 [五] ちろんどるで。とどろりましと [又]  
とどろらちおやアぬら [五] さやうでとどろりまし。りぬの  
人まふ。行まをはきうんと。因ゆをまんさいののサ  
らんを又りがらいのりも。とどろりません子 [又] おらま  
るも。あらともんどの [五] こらんしゆも。あらいさんの  
ららいのりをとどろらちさんハまうそめトとん

1. まゝ〜こがゆ<sup>まん</sup>や〜とも。夫<sup>や</sup>を死<sup>し</sup>の弓<sup>ゆ</sup>ひを死<sup>し</sup>で  
 ござりませゆ<sup>かん</sup>なま<sup>ま</sup>でおぬ<sup>ぬ</sup>〜やま〜こ<sup>又</sup>ウ  
 それが<sup>り</sup>。客<sup>きやく</sup>人もありませ<sup>ま</sup>ござら。そと<sup>ろ</sup>に<sup>ろ</sup>  
 道<sup>みち</sup>と<sup>と</sup>おが<sup>う</sup>陸<sup>りく</sup>〜まほ<sup>し</sup>も。出<sup>で</sup>来<sup>き</sup>り<sup>り</sup>ス<sup>ス</sup>目<sup>め</sup>を<sup>を</sup>ま<sup>ま</sup>の  
 毛<sup>け</sup>行<sup>ぎやう</sup>を<sup>を</sup>洗<sup>せん</sup>〜と<sup>と</sup>り<sup>り</sup>ど<sup>ど</sup>の<sup>の</sup>を<sup>を</sup>ぬ<sup>ぬ</sup>〜と<sup>と</sup>おが<sup>が</sup>ま<sup>ま</sup>が  
 妻<sup>つま</sup>お<sup>お</sup>や<sup>や</sup>ア<sup>ア</sup>あり<sup>り</sup>人<sup>ひと</sup>ヨ<sup>ヨ</sup>田<sup>でん</sup>ま<sup>ま</sup>ぶ<sup>ぶ</sup>さ<sup>さ</sup>や<sup>や</sup>う<sup>う</sup>で<sup>で</sup>ござ<sup>ご</sup>り<sup>り</sup>ま<sup>ま</sup>の<sup>の</sup>今<sup>いま</sup>  
 かん<sup>かん</sup>れ<sup>れ</sup>ア<sup>ア</sup>を<sup>を</sup>死<sup>し</sup>さん<sup>さん</sup>の<sup>の</sup>作<sup>たく</sup>兄<sup>あに</sup>を<sup>を</sup>葬<sup>まう</sup>あ<sup>あ</sup>が<sup>が</sup>ら。み<sup>み</sup>ら<sup>ら</sup>や<sup>や</sup>  
 入<sup>い</sup>ら<sup>ら</sup>の<sup>の</sup>ま<sup>ま</sup>り<sup>り</sup>ま<sup>ま</sup>せ<sup>せ</sup>又<sup>又</sup>と<sup>と</sup>や<sup>や</sup>せ<sup>せ</sup>う<sup>う</sup>田<sup>でん</sup>り<sup>り</sup>ぎ<sup>ぎ</sup>を<sup>を</sup>あ<sup>あ</sup>の<sup>の</sup>

おが〜ゆ。も。ござりませうがまア。どららとものあまの

入らぬ者なりませ又とくやせう  
[五] びびるまゝの

おぢーやーゆ。どぶうませうがまア。どちらとものあまひか  
あまされてはく（うま）の方ハコシで。ふ切しとら。アしでふざれ  
どら。ヤスオなるアでも。あまうませんと。アとくーい  
仲（あうま）なるくちノ射（ま）ーまーて。淋（ま）ませんをばうらあから。はま  
な。ゆんまうとらとアスハ。まぶはさとあら。ぬ入るアで  
どぶうませうテ又（ま）そまやアアらちゆぬんさ子。うづまの  
あまのちひを。どらうとゆ（ま）のこらあやア。どめかくゆ  
あま（ま）どらうふ。まらつめりサ [五] ぶくぞそのままで。入らぬ



だのニふらまのふが中のまひとらちづふおとそふま

これ<sup>□</sup>とのやア。あまののまのせんで。まごうまをトれ  
よりみうらや、それ<sup>ゆはつ</sup>雲の海りまきると死れ。その<sup>うら</sup>色黒く  
まあるいまる。こまごえの花と。強むるも笑つるると死れ。その<sup>え</sup>格をお  
かんド。その<sup>よ</sup>結きやどをのりて。はたこのあまびとら。い  
る。山もせり<sup>のが</sup>清れ<sup>つひ</sup>バ下<sup>おん</sup>とより<sup>や</sup>弁<sup>や</sup>道<sup>みち</sup>ま<sup>ら</sup>ト<sup>ら</sup>や。ま  
みうらやの<sup>え</sup>又<sup>また</sup>死<sup>し</sup>れ<sup>い</sup>。ま<sup>ま</sup>又<sup>また</sup>ま<sup>ま</sup>又<sup>また</sup>ま<sup>ま</sup>。ま<sup>ま</sup>死<sup>し</sup>れ<sup>い</sup>て<sup>ま</sup>り  
た<sup>ま</sup>ま<sup>ま</sup>ふ<sup>ふ</sup>ら<sup>ら</sup>う<sup>う</sup>ら<sup>ら</sup>ん。子と母やの<sup>ま</sup>死<sup>し</sup>れ<sup>い</sup>る<sup>ら</sup>が<sup>ら</sup>る。モ<sup>モ</sup>と<sup>と</sup>女<sup>に</sup>よ  
え<sup>え</sup>ら<sup>ら</sup>れ<sup>れ</sup>も<sup>も</sup>せ<sup>せ</sup>ば<sup>ば</sup>。ら<sup>ら</sup>れ<sup>れ</sup>又<sup>また</sup>丁<sup>てい</sup>町<sup>ちやう</sup>へ<sup>へ</sup>魚<sup>いさな</sup>や<sup>や</sup>も<sup>も</sup>あ<sup>あ</sup>ら<sup>ら</sup>ぬ<sup>ぬ</sup>弁<sup>べん</sup>道<sup>みち</sup>

の。コノミヤコまふとど御幸まふとどられをまゝきりて。どぢらぢらぐらぐら  
 切きらせんと。ゆゑにやむおぢいども。又ららぐらぐらのま  
 ま。こゝろぐらぐらと。あんどらぐらぐらひ。まゝでまをま痛いたむとら  
 ぐら。癩かさねが邪よ魔まと。背せがせるおらら。よ。川かわやまふ  
 が。知らせて又ららぐ。あの人ひとのふらと。くまくまあう  
 ち。残のこり。さん。百ひゃく倍ばいもままをのままと。わと。くくと  
 ああひ。い。んいんの。まま地ぢ。コノミヤコ。ああの。強つよりもああづんづんに  
 出でるね。トとままくくわわど。その。強つよりが。結むすむむすむむすくく。まままま

たく。ああははなくなくななりりああののししどどののままああるる。一い合あひひの  
 ううががまま





マヤア。なと二倍ふむり倍倍を。かりであんしこせと。そうマ

かふとのつぎ初命つぎと。播子まむゆそのらちマヤア。かりで  
あんまごろう。世まのふのやうふまのふ別海まのふあつて。人まのふ志マヤア有  
あし。まんぢらアし切きりふ。ああんまごらつての。あぢら  
まあへ。それふアしぢらぢさんまのふのりゆ。茶まのふ毎まのふが舌まのふ  
あんで。舌まのふをら茶まのふかゆのそ。あらしんまのふ平まのふきで。アそくあ  
りて。あんまごらゆふぢらぢらまのふと。茶まのふ毎まのふが舌まのふ  
さんまのふ下まのふなる。るぢらぢら。おらせ入まのふまヨ。あんまのふあぢらぢらて。舌まのふ  
らうらア。りゆと茶まのふをらふありイまのふま。そと。あらしんと。あれ

切<sup>き</sup>りて。おひであんせまぶ。ごよーいせうト。おめらへストん  
 ぬ。んがそくまひて。ちんごうがしんせ  
 らーひ。ちんお懐<sup>なま</sup>物<sup>もの</sup>まの早<sup>はや</sup>ま<sup>ま</sup>。昔<sup>むかし</sup>人<sup>ひと</sup>ふ実<sup>まこと</sup>か。あらッ  
 ちんごうらのるひげんまヨ。又<sup>また</sup>まんのやうま。くひまらじ  
 い。ぬとが附<sup>つ</sup>金<sup>かね</sup>ごト。あらせしこころ。子<sup>こ</sup>とせや「お出  
 あんて。さくらがむんを。お実<sup>まこと</sup>あんまのりぬ。あひまの  
 せん。あいらんがあんまり。人をよくして。吾<sup>われ</sup>もあまやる  
 うら<sup>うら</sup>はるも仲<sup>な</sup>の丁<sup>てい</sup>で。子<sup>こ</sup>とせやのあんごく<sup>く</sup>ん<sup>ん</sup>。あひの



の道<sup>みち</sup>。秘<sup>ひ</sup>をかくせて。かまひ

うらばるも仲の丁で。子と世やのあんどくえんあめ



目。砂をかくせて。かまひ  
 した。又さんのやうな。客  
 人の帯でなく。軽おぶら  
 りまら。みまのやへ。おいぞ  
 あしと。やうぞうふああん  
 一。髪巾を甘く。よん  
 まららト。ワめてやういーこ  
 トワわん。どうとあれが。あん  
 まり。又うらる。目をくらう。けして

舟のゆくを見送るが身の人をみよどかくといふ  
 うれせらるるある方のあひあひあんもあかぬ 志実ハ又は花街  
 のあひくや 兄あやえんそれがあつ。碧縁あやえんであさまのまをえく  
 傍りあやえんのあひくや 兄あやえんそれがあつ。碧縁あやえんであさまのまをえく  
 ね移入あやえんあつら。まけをまじいしをよ。川やの。中亭  
 さんあやえん二三日あともをたのミイし。屋あやえんけてさくくま  
 さんあやえんあつれが。せひ又さんも。おああんまをけで。おさまのい  
 から。それを待あやえんてくあまのまのサトあやえんうらさあやえんひるまのま 疾あやえんこんせ  
 あらまる。鈴あやえんのまも二度目あやえんがまんでまぶる。兄あやえんの  
 子あやえんやくら  
 ゴあやえんく

ときも切らざる。僕あやえん兄あやえんお捨あやえん子あやえん先あやえん不あやえん仇あやえんりくは。あん内あやえん

あらまる。鈴の青も二夜目がまんでまぶる。死の子やしら  
ゴロく

むきも切らざる。快兄お掃子先不仇りう後。あん内  
あれバ。ヨシコノあり。上と方うこ不誠中が。安宅の松  
む。疎すかん。うまの妻あぞあくれう。花将子  
教んとま。初文の疎ふさ死ま子と。又うらひ子とを  
引つ是。うらやうら。えーがうあて又死不。對面  
あーまぶ病中の。懺きうやをど心。且我身のおそる  
ある。おぼろしくおのる。病懐のうらをを。つら  
あど。うらぐとひ解と。産一死の潜鬱も。小短う

切り上ケられバ。与つて目ヲ一利セク。それノ一不  
接致ス。一。又それ又下不。いとぬぐひくと引とらぬ  
ありさろ

【兄弟】ホニ正月おひであん〜と。位までおささみのスぬ〜  
【又】

そふ舟親父が大接まで。とんど目不あひ中〜【あひ

らん。】のそあへト切ツク。おひであん〜とヨ【あんま

そのでもあるぬ〜【毎ぬ】のろりを苦くろさかおひのひあん

あて。そんなまがぬまがらひあんを【又】そのまやア人遠ちが入ごろう

ぬまがららわどふ。おひのまるトりのぬ。くらかな〜いるらめと【又】

又あさん。だまのりておひであん〜ヨ。い〜らあめいし

形うやぶふ。おのひまらうトリめん。くらかなしいるのこえ

又あさん。だまらておつごあんーヨ。いくらあめいじ  
ても。くらちえまうおゆあんまらうちやう。おざらイせん  
くら。矢<sup>や</sup>禮<sup>れい</sup>があらちやア。後<sup>ご</sup>日<sup>にち</sup>ふらるふあきまのせヨ  
又あいらら。悪<sup>あく</sup>毒<sup>どく</sup>なるのをりふかんサ。人のらら  
も。あいら移<sup>うつ</sup>で。あつらとあいら。あひ目<sup>め</sup>で又てあつら  
り。毎<sup>まい</sup>おしニ又さん。あいらまじあいでまんまら  
傍<sup>かた</sup>らしいヨ。男<sup>おとこ</sup>ザのせい人でまートらまら。あいら  
くらばんま。ちらちらあいらんのふめさうして。ああが

あんー 又 けえのまろー 中ら。あるめんおやアぬら  
 の。今えん夜らんあるまでの。んきんづちとりふりのア。替  
 つまアぞんまごころ。かんおぬぬらー まで。よろこ  
 出てまやー トりのあつちりふあつち。あん立るま茶あんへ アイおい  
 らんへ。おまげさんがせぬごーと。おあんあんー トサあ  
 おま母とりのあとりのあ [又] アイありがたぬ トりふきをそやらふふ  
 かんのふひのふひ [又] アイありがたぬ トりふきをそやらふふ  
 こまのこめんごのぎふごを中く 合よくばある中うお非おひ  
 信しんトんでもあるがう。キットじむ。おんぶくの悪わるイ信しんア

よ九

だれでもんがまひのしんしんがなとわうりふおめのおの  
 ？

信しんんでもまるがう。チットでもあんぐの悪アクイイ時ときアア

だれでもんがそひりんと。ソマてかうりよ。勉とめめの身みの  
うで。短みづかららちやや。老ま文ぶんのりずんヨ。又マ可か難なんをかんん  
と。おもつておんあんまう。又マあららてててて。いいままぐぐも  
あるありりおおややアア也也人人ら。二階う位いひひのふきき尾びをありありま  
るるでで遊あそびびがあるるひひてて又マト。ああんんどどららああるる中ちゆうらら。ままあ  
かからら中ちゆうらら内ない子し長ながるるままううああく。日ひのあききがこのあんんてて  
ままあありり子し。親あやち又マややああららららのあのの目めをあんんてて。ソソッットト内ないを  
ああけけててああるる。ららちちのあんん子しをあんんてて入いるるららうう。ままああん

ざら。おんちやめら。らんまふまをのめ  
り入又 **■** あらんのおのるのこや。どらんぬーの  
あう切ッてお出まんも。伏さんまものを。あらんたんと  
も。まふらんが伊<sup>い</sup>で。おまのま **■** それどらんち  
も。まをめん<sup>くろ</sup>で。苦<sup>くろ</sup>方をまのこ。まらぶあーく  
あめてらんまさん **■** ぞぞす人 <sup>ちん</sup> 始<sup>し</sup>とあふか  
あくく。お上<sup>か</sup>あんー **■** とらや女<sup>め</sup>らうの。まらど  
め<sup>め</sup>の **■** ぬーがそのまでお出まんま。あらんの

ひんち。病<sup>び</sup>まのぢきふ平<sup>へい</sup>愈<sup>よく</sup>イを **■** コウ<sup>こう</sup>兄<sup>あに</sup>あさん。とん

めの子  
[毒] ぬいごとのまじでお出さんま下。おいらんの

病<sup>びやう</sup>毒<sup>どく</sup>のぢきふ平<sup>よ</sup>愈<sup>く</sup>イ<sup>ま</sup> [又] ユウ<sup>あ</sup>兄<sup>あ</sup>あさん。らん  
夜<sup>ヤ</sup>ア<sup>あ</sup>れが。看<sup>うん</sup>病<sup>びやう</sup>して<sup>ま</sup>る<sup>ら</sup>う<sup>ら</sup>の。あらんハあんどーを  
な<sup>ね</sup>る<sup>ら</sup>う<sup>ら</sup> [毒] そ<sup>ま</sup>ら<sup>ら</sup>い<sup>い</sup>せ<sup>せ</sup>。お<sup>と</sup>ニ<sup>に</sup>お<sup>ら</sup>ん<sup>の</sup>の。そ<sup>ら</sup>  
上<sup>せ</sup>は<sup>は</sup>ん<sup>ん</sup>ら<sup>ら</sup>い<sup>い</sup>。ぢ<sup>き</sup>ふ<sup>の</sup>ま<sup>ま</sup>が<sup>が</sup>あ<sup>あ</sup>は<sup>は</sup>の<sup>の</sup>ま<sup>ま</sup>ら<sup>ら</sup>う<sup>う</sup>。そ<sup>れ</sup>が  
ま<sup>ま</sup>の<sup>の</sup>ま<sup>ま</sup>ら<sup>ら</sup>う<sup>う</sup>。ぢ<sup>き</sup>ふ<sup>の</sup>ま<sup>ま</sup>ら<sup>ら</sup>う<sup>う</sup>。毎<sup>まい</sup>日<sup>にち</sup>〜ぬ<sup>の</sup>の  
ら<sup>ら</sup>う<sup>う</sup>を<sup>を</sup>ら<sup>ら</sup>う<sup>う</sup>。あ<sup>あ</sup>く。夜<sup>ヤ</sup>イ<sup>い</sup>あ<sup>あ</sup>。らん<sup>の</sup>夜<sup>ヤ</sup>あ<sup>あ</sup>らん<sup>の</sup>  
の<sup>の</sup>。ぢ<sup>き</sup>ふ<sup>の</sup>あ<sup>あ</sup>らん<sup>の</sup>ま<sup>ま</sup> [又] ま<sup>ま</sup>く<sup>く</sup>お<sup>お</sup>て<sup>て</sup>ま<sup>ま</sup>ら<sup>ら</sup>う<sup>う</sup>。〜  
[毒] お<sup>お</sup>ら<sup>ら</sup>ん<sup>の</sup>ま<sup>ま</sup>ら<sup>ら</sup>う<sup>う</sup>。ぢ<sup>き</sup>ふ<sup>の</sup>ま<sup>ま</sup>ら<sup>ら</sup>う<sup>う</sup>。 [又] アイ<sup>あ</sup>お<sup>お</sup>て<sup>て</sup>お<sup>お</sup>休<sup>やす</sup>ま<sup>ま</sup>





子と母のふもさうふたれど。アリヤア人の財命を  
 買ひぬのふも。ふもか海にるやあふれど。あ  
 る。ま引づくふもあてまて。正日月もろくくるる  
 遠へかてま。あひひかゆもぬ人後もませ。かごふれ  
 ど。何やろあまの切りで。ま信ふ通とまう。海く  
 別海もぬ人内。今さらのろつ。おこト。あまのまぬ  
 ぬやぬ人。又。そのまアぬ。のふおめてあえまんじ  
 今夜だつても。子と母やへかあまん。い人であまら

ろんらん。かあまん。い。あまん。せん。の。を。い。い。い。

今<sup>えん</sup>夜<sup>下</sup>だん<sup>く</sup>も。子<sup>こ</sup>と母<sup>は</sup>やへかお<sup>あ</sup>ん<sup>ん</sup>〜と<sup>う</sup>人<sup>で</sup>ま<sup>ら</sup>

ろん<sup>ん</sup>か<sup>お</sup>あ<sup>ん</sup>〜と<sup>う</sup>あ<sup>ま</sup>ん<sup>ん</sup>せん<sup>の</sup>を<sup>を</sup>と<sup>う</sup>ご<sup>う</sup>  
 い。せん<sup>で</sup>あ<sup>ま</sup>ん<sup>ん</sup>〜と<sup>う</sup>い<sup>ま</sup>も<sup>ん</sup>ろ<sup>う</sup>又<sup>と</sup>ろ<sup>う</sup>執<sup>念</sup>が<sup>ほ</sup>ろ<sup>ろ</sup>  
 ち<sup>や</sup>ア<sup>。</sup>あ<sup>ん</sup>と<sup>も</sup>り<sup>ひ</sup>よ<sup>う</sup>が<sup>ぬ</sup>く<sup>。</sup>又<sup>。</sup>アイ<sup>。</sup>ろ<sup>ろ</sup>ち<sup>や</sup>ア<sup>。</sup>執<sup>念</sup>  
 念<sup>が</sup>ほ<sup>ろ</sup>ろ<sup>。</sup>あ<sup>ま</sup>ん<sup>ん</sup>〜と<sup>う</sup>の<sup>サ</sup>。あ<sup>ま</sup>も<sup>ち</sup>く<sup>あ</sup>げ<sup>ん</sup>〜と<sup>う</sup>  
 と<sup>う</sup>ろ<sup>。</sup>あ<sup>ま</sup>ん<sup>ん</sup>〜と<sup>う</sup>い<sup>ま</sup>と<sup>。</sup>ぬ<sup>。</sup>〜と<sup>う</sup>ほ<sup>ろ</sup>〜と<sup>う</sup>ち<sup>や</sup>ア<sup>。</sup>あ<sup>ま</sup>  
 い<sup>せん</sup>ろ<sup>ろ</sup>。その<sup>ま</sup>ま<sup>で</sup>え<sup>ん</sup>〜と<sup>う</sup>か<sup>い</sup>で<sup>ま</sup>ん<sup>〜</sup>又<sup>。</sup>それ  
 だ<sup>ら</sup>ら<sup>。</sup>〜と<sup>う</sup>の<sup>あ</sup>の<sup>ふ</sup>ぢ<sup>う</sup>と<sup>う</sup>。〜と<sup>う</sup>又<sup>。</sup>執<sup>念</sup>が<sup>ほ</sup>ろ<sup>ろ</sup>〜と<sup>う</sup>  
 ま<sup>ま</sup>を<sup>も</sup>む<sup>。</sup>あ<sup>ま</sup>ん<sup>ん</sup>〜と<sup>う</sup>ち<sup>や</sup>ア<sup>ぬ</sup>く<sup>。</sup>又<sup>。</sup>ま<sup>ま</sup>を<sup>ほ</sup>ろ<sup>ろ</sup>〜と<sup>う</sup>





とんふふ。あまんまのでもあざらひをヨ  
又むくや  
又おと二ととのでもあざらひをヨ  
と。後あとにおちくのをほ  
まみく。作者さくしやのほきとくがく。よんおままくま草くさを  
あつてまがまが一ふくとままるるのあうり。

未明草上卷了

未明草上卷了

二六三

1002705000

